

開講科目名 / Course	病理学各論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second,Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	定金 香里	
担当教員名 / Instructor	定金 香里	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	病理学各論では、循環器系、呼吸器系、消化器系など、同様の機能をもつ臓器を系統別に取り上げ、それぞれに生じる病態および代表的な疾患について学ぶ。本科目では、病理学総論で学んだ病気の原因、それに対するからだの反応、ならびに病状の経過に関する一般的な原理や規則の知識を基盤として、個々の病態や疾患を具体的に理解することを目的とする。ここで修得した知識は、病気の診断を理解するための基礎をなすものであり、看護実践において患者の症状や経過を把握し、適切なケアを行うために不可欠なものである。	
到達目標	1. 系統別に生じる病気が、病理学総論で学んだ病因・病態のカテゴリーのいずれに属するかを判断できる。 2. 系統別に生じる病気について、その成り立ち、形態学的変化および特徴を説明できる。 3. 修得した知識を、看護のアセスメントに活用することができる。	
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能	
授業計画	01. 循環器系の疾患 02. 血液・造血器系の疾患 03. 呼吸器系の疾患（1）：上気道の疾患および胸膜と縦隔の疾患 04. 呼吸器系の疾患（2）：下気道の疾患 05. 消化器系の疾患（1）：口腔、食道、胃、膵臓の疾患 06. 消化器系の疾患（2）：腸・腹膜、肝臓・胆管・胆嚢の疾患 07. 腎・泌尿器、生殖器系および乳腺の疾患 08. 内分泌系の疾患 09. 脳・神経・筋肉系の疾患 10. 骨・関節系の疾患、眼・耳・皮膚の疾患	
その他の授業の工夫	反転授業を行う。事前に「講義」映像を視聴し予習を行い、講義の時間では、その内容に基づくクイズと解説を実施する。予習中に生じた疑問はメールで教員に送れば、講義時間内で回答する。「講義」映像は、オンデマンドで繰り返し視聴可能であり、復習教材としても活用できる。予習に必要な資料は、事前に配布する。	
時間外学修	事前学習：事前に「講義」の映像をオンデマンドで受講すること（必須）。本授業は反転授業形式で実施するため、事前に予習を行うことで、授業時間内における復習および理解の深化を図る（19h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験100%（100点満点で60点以上を合格とする）。 なお、定期試験の受験資格および単位認定については、学生便覧に定める学修評価の要件を満たすことを前提とする。	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学（医学書院）	
参考書	病気がみえる vol. 1～9, 11～14（メディックメディア） 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2]病態生理学（医学書院） カラーで学べる病理学（ヌーヴェルヒロカワ）	
履修する上で必要な要件	「講義」映像をオンラインで視聴できる環境	
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	

実務経験をいかした教育内容